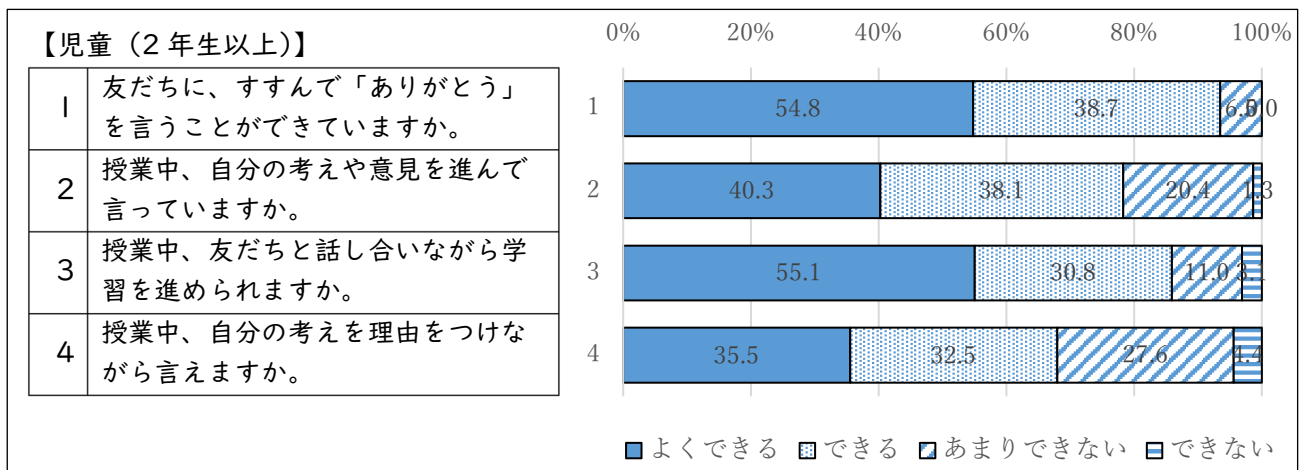
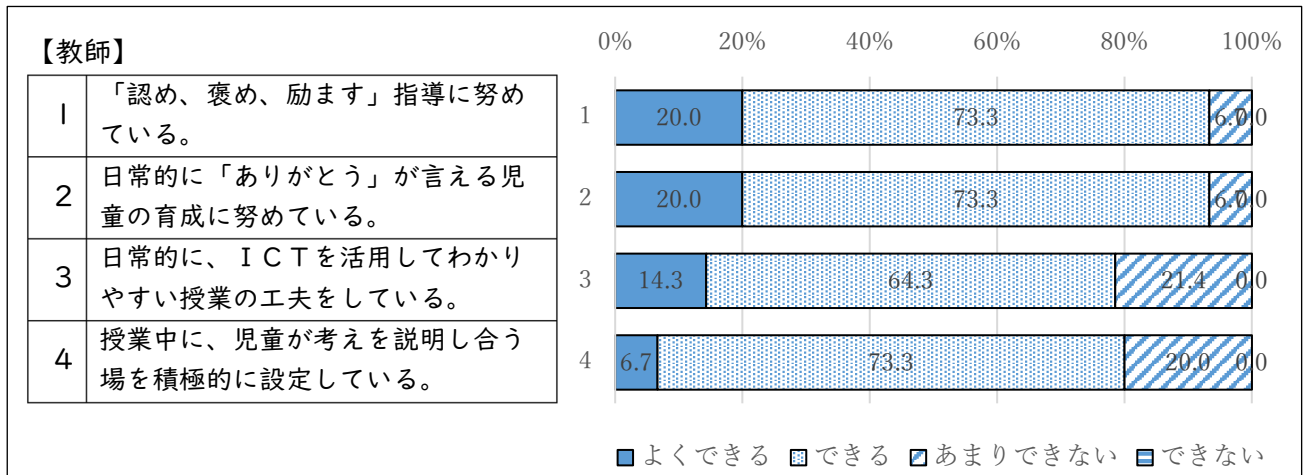




5月にとった学校経営ビジョンに係るアンケート結果です。

先生方の、1・2について「よくできる」70%以上、3・4について「よくできる」50%以上を目指したいな。

児童の、1について「よくできる」70%以上、4について「よくできる」50%以上を目指したいな。



「〇〇さん、席について。ありがとう、教えてくれて。」

席を離れていた子にかけた言葉です。その子は、その後、いい笑顔で席に着きました。

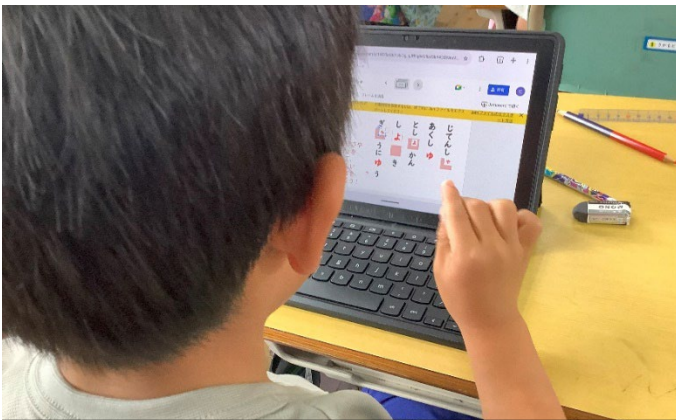
友だちに何か教えていたのですが、「褒め」を添えて注意したことは効果的だったと思った場面でした。

子どもは親や教師の思うようにはならない。
 親や教師の（する）ようになる。



ぼくの今の説明、わからなかった人？

「みんなに伝わらなかったこともあったけど、少しは伝わった人がいたからうれしかったし、相手がちゃんと反応してくれたことがうれしかったです。最後は、先生のをかりて伝わってよかった。今度は、ぼくからもみんなに質問しながら説明したいと思いました。」
 ※反応というのは、「わかったこと」「わからないこと」の両方だそうです。



拗音と撥音の学習です。文字を大きくしたり小さくしたり、適切な場所へ移動したりと、自作の教材です。ナイスアイデア！

参観日の授業をとおして

どの学級も、子どもたちの発言の機会をより多くもとうとしているのがはっきりとわかりました。より多く発言しよう意識できている子どもたちも多かったように感じました。保護者のみなさんのうれしそうな表情が見えました。

「子どもたちが主役の授業」は、毎日の授業の中での、経験の積み重ねが大切だと思います。

積極的な取組、ありがとうございます。

令和6年度の学校運営協議会委員のみなさんです



楠牟礼 和幸 さん

佐土原 正次 さん

黒木 政信 さん

高田 昌彦 さん

上原 正人 さん

平山 五記 さん

長崎 孝仁 さん

東 智恵子 さん